

ふくおか & MAFF

2022.3

Vol.33

2022年3月1日発行

MAFFとは農林水産省の英語表記「Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries」の略称です。

Contents

- 1兆円突破！ -2021年の農林水産物・食品の輸出-
- 経営を変える！農業支援サービスのご紹介
- 予算説明会を開催しました

1兆円突破！ -2021年の農林水産物・食品の輸出-

世界的に新型コロナウイルスの蔓延が続く中、消費者ニーズの変化に対応した、小売店向けやE C販売等の新たな販路への販売が堅調だったこと、中国や米国等の経済活動が回復傾向に向かい、外食需要も回復してきたこと等で、多くの品目で輸出額が伸びました。

農林水産物・食品 輸出額の推移



輸出額の増加が大きい主な品目

品目	増加額 (増加率)
ホタテ貝	+325億円 (+104%)
牛肉	+248億円 (+86%)
ウイスキー	+190億円 (+70%)
日本酒	+160億円 (+66%)
真珠	+95億円 (+125%)
青果物	+83億円 (+28%)
ぶり	+74億円 (+43%)
ソース混合調味料	+70億円 (+19%)

(農林水産省HPより抜粋)

注：2020年の(9,217)は少額貨物及び木製家具を含まない数値
2021年の(11,629)は少額貨物を含まない数値

※財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

(農林水産省HPより抜粋)

詳細はこちら → https://www.maff.go.jp/j/press/yusuyutu_kokusai/kikaku/220204.html

福岡県内産の農林水産物・食品の輸出額も増加しているのでしょうか？ 福岡県産をはじめ九州産農産物の輸出拡大に取り組む九州農産物通商株式会社様の状況をご紹介します。

九州農産物通商株式会社

- ・福岡県庁、JAグループ福岡等の出資により、2008年に設立(2016年に現社名に変更)。
- ・福岡県産、九州産農産物を中心に輸出事業を展開。輸出先国に応じた産地作りも行っている。
- ・主な取扱品目はいちご、なし、かんしょ、ぶどう等。輸出先は香港、米国、タイ、台湾等。

当社売上高は令和元年度が約6.6億円、2年度は約10億円に増加しました。コロナ禍で、航空便の減便や船便の遅延など輸送手段が安定しない時期もありましたが、**巣ごもり需要の増加や輸出先国・販売先の拡大もあり、着実に伸びている実感**があります。

今後は、マレーシアや米国東海岸・中央部など、既存の輸出先国・地域以外への展開も進めるほか、福岡県の主力品目である**いちご、みかん、柿等の輸出拡大に一層力を入れていく**所存です。



アメリカ・タイへの輸出前に行う柿のフジコナカイガラムシ除去



積込前のいちご



あまおうフェアの模様(タイ・バンコク)

☆九州農産物通商株式会社HP ↓

<https://www.fukuoka-apt.com/companyprofile.html>

輸出のための支援情報！

今後公募が予定されている補助事業等をご紹介します。

施設の新設・整備や、機器のリースを行いたい！

- ❁ 食品産業の輸出向けHACCP等対応施設の整備 募集：3月上旬～4月上旬（予定）（申請先：県）
- ❁ 加工食品輸出産地確立緊急対策 募集：3月までには開始予定（申請先：株式会社JTB）
- ❁ 有機JAS認証、GAP認証取得等支援事業（申請先：株式会社マイファーム）

輸出に対応できる添加物・包材・ラベル表示等の対応を行いたい！

輸出先国の規制に対応した加工食品製造支援事業のうち

- ❁ 中国等向けラベル切替等支援事業
- ❁ EU向け食品接触材の適合宣言書作成支援事業（加工食品）
募集：4月以降（2次公募実施予定）（申請先：農林水産省）

国際的な認証を取得したい！

- ❁ JAS・JFS規格の認証支援に向けたモデル実証事業
JAS →（申請先：（一社）日本農林規格協会）
JFS →（申請先：（一財）食品安全マネジメント協会）
- ❁ 規格・認証を活用した加工食品の輸出環境整備事業
募集：4月以降、※現在、申請先となる事業実施主体を公募中
- ❁ 有機JAS認証、GAP認証取得等支援事業（再掲）

このほか、**情報収集・コンサル、生産・商品開発、規制等への対応、資金調達・人材育成**等の支援がごございます。

詳細はこちら → https://www.maff.go.jp/j/shokusan/export/gfp/yosan_setsume.html

JETROのサイトにも支援情報等がごございます。 → <https://www.jetro.go.jp/agriportal.html>

GFP

農林水産省が推進する日本の農林水産物・食品輸出プロジェクトです。サイト登録者を対象に、「輸出の可能性」を診断することにより、サポートを行います。輸出をしたいけど、どうしたらいいかわからない！ビジネスパートナーを探したい！輸出に関わる情報を効率よく入手したい！こんな方に最適です。



詳細はこちら ↓



経営を変える！

農業支援サービスのご紹介

農業支援サービスとは、農業現場における作業代行やスマート農業技術の有効活用による生産性向上支援等、農業者に対してサービスを提供することで対価を得る業種のことをいい、**データ分析**や**ドローン散布等の作業受託**、**農業機械のシェアリング**、**農業現場への人材供給**等、農業を支援するサービスのことです。

農業支援サービス事業者情報

営農にご活用頂けるよう公開しています。

詳細はこちら → <https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/service.html#gl>



補助事業情報

農業支援サービス育成対策(3月11日まで公募中)

ビジネス確立のためのニーズ調査、デモ実演等に必要な機械・システムの改修やデータ収集、農業支援サービス事業者が行う人材育成（研修費等）等の取組を支援。

強い農業づくり総合支援交付金のうち農業支援サービス事業支援タイプ(3月11日まで公募中)

事業の新規事業立ち上げに必要な、農薬散布用のドローン等、農業用機械等のリース導入・取得等を支援。

スマート農業の全国展開に向けた導入支援事業(3月16日まで公募中)

作業受託等を行うサービス事業者がスマート機械等を導入する取組を支援。

詳細はこちら → <https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/service.html#hoiyokin>



予算説明会を開催しました

県内の市町村や農業関係団体等の皆様を対象にオンラインで予算説明会を開催しました(2月1日～4日)。合計約70組織に参加いただき、令和3年度農林水産関係補正予算や令和4年度農林水産予算概算決定の概要について、説明等を行いました。



参加、ありがとうございました！県拠点では、予算等に関するご質問等に随時対応しています。お気軽にご連絡願います！

【お問合せ先】

九州農政局福岡県拠点地方参事官室
〒812-0018 福岡県福岡市博多区住吉3-17-21 TEL 092-281-8261（代表）
<https://www.maff.go.jp/kyusyu/fukuoka/index.html>

